

コンプライアンスの徹底

OKIグループは、法令遵守はもちろん、社会的良識に従って行動し、公正な企業活動を展開するため、コンプライアンスの強化に取り組んでいます。コンプライアンス責任者を委員長とするコンプライアンス委員会のもと、教育と全社的・統一的・体系的なリスクマネジメントを推進するとともに、通報・相談窓口を設置し、通報者の保護など内部通報に関わる規程を定めることで、不正行為の早期発見と是正を図っています。

〔 コンプライアンス教育の強化 〕

OKIグループは、コンプライアンス関連施策の浸透のため、国内6拠点で「コンプライアンス管理者研修会」を実施しています。参加者は受講内容を自部門に展開し、その浸透状況は国内グループの全従業員を対象に実施するeラーニングにより確認しています。

2012年度は、グループにおけるコンプライアンス推進上の課題を確認し施策に反映するため、11月のeラーニング実施時に、コンプライアンス意識調査をあわせて実施しました。また、業務上起こりうるコンプライアンス関連の事象と取るべき行動をQ&A形式で説明した冊子「コンプライアンス事例集」を階層別研修などにおいて配布したほか、社内報（イントラネット）に身近な事例の説明記事を連載する



など、教育内容を具体的な形で浸透させるための施策を強化しました。

社内報でコンプライアンス事例の解説記事を連載

2012年度コンプライアンス教育受講率(国内OKIグループ)

コンプライアンス管理者研修会	100%
eラーニング「職場のコンプライアンス」	100%

〔 コンプライアンスリスクに関する 施策の充実 〕

OKIはリスクマネジメント規程に基づくリスク管理を徹底し、リスク発生時の対応体制も整備しています。特に重要視するコンプライアンスリスク^{*}については、各部門が担当業務に関連して発生しうるリスクをリスクマネジメント推進事務局に登録して予防策をグループ内に展開し、その実施状況を定期的に確認する管理サイクルを構築・運用しています。

2012年度は予防策の展開先において着実に施策が実施されるよう、展開先部門トップによる活動への関与を徹底すると

もに、リスク主管部門と展開先部門とのコミュニケーションを強化しました。

^{*} コンプライアンスリスク：法令・規範や社内ルールなどの違反に伴うリスク。

〔 公正な営業活動のために 〕

OKIグループは公正な営業活動を実践するため、「OKIグループ行動規範」に、独占の禁止や公正な競争に関する各国・地域の法令を遵守し、公正かつ自由な競争に努めること、また公務員はもちろん、お客様およびその代理人など、いかなる第三者に対しても、現金またはその他の形での贈賄行為を行わず、いかなる第三者からの賄賂も受領しないことを明記し、グループ全社に徹底しています。2012年度は、グローバルに厳罰化が進む腐敗防止関連法令（連邦海外腐敗行為防止法、英国贈収賄防止法など）の動向について、eラーニング「職場のコンプライアンス」のなかで教育を行いました。

〔 調達活動における取り組み 〕

社会的責任を果たしていくためには、サプライチェーンに関わるお取引先の協力が不可欠です。OKIはこの認識に基づき、パートナーとしての信頼関係構築に努めるとともに、「OKIグループ資材調達方針」に「お取引先様へのご協力」として「法令・社会規範の遵守」「地球環境への配慮」「情報の適正な管理・保護」などを掲げ、ご協力をお願いしています。2012年度は、同方針に「災害など止むを得ぬ事態が発生した場合の供給継続」および「不当な方法で採掘された紛争鉱物への対応」について追記し、改訂を行いました。

〔 緊急・災害時のリスク対応 〕

OKIグループでは、国内外の拠点やグループ企業に「防災対策委員会」を設置し、緊急連絡網を整備しています。また、災害発生時にも「生命の安全確保」「二次災害の防止」「地域貢献・地域との共生」「事業の継続」が図れるよう取り組んでおり、このうち「事業の継続」については、2008年度にBCP（事業継続計画）策定ガイドラインを整備しています。

2012年度は、首都直下型地震、南海トラフ巨大地震などについて被害規模や範囲の見直しが公表されたことをふまえ、各事業におけるBCPの見直しを進めるとともに、コーポレート（本社）部門のBCPについても整備を進めました。今後も地震などのリスクに的確に対応するため、グループとしての取り組みを継続していきます。